

野帳を基に略地図を作る

ハイキングが終わって、報告書と野帳を基に地図を作る作業はスカウトだったら誰でも経験すること。

地図だったら、ハイキングの時使った1:25000の地図を報告書に張ればそれで済むことだが、せっかく自分の足で歩いたハイキング「自分の縮尺で書いた地図があったって良いじゃないか！」と云うことで、君だけにしかできない地図の作り方を教えよう。

もし「報告書に付ける地図は1:25000で作らなくてはだめ！」と言う場合には使わないで欲しい。

この地図の特徴は、地図上に距離を表すとき、本来ならば【歩数×歩幅】を計算して換算することを、自分の歩幅 = 1mm(2mm)として計算して書き、最後に縮尺で1mm(2mm) = 歩幅とする方法。

同じ場所をハイキングしたのに班長と新人では歩幅が違うために、大きさの違う地図が出来上がることになる。

(もちろん、縮尺を同じに拡大・縮小すれば同じ大きさになるのだが) そんな、自分だけの略地図を作ってみよう。

用意する物は簡単、東西に長いハイキングコースだったら、横罫のレポート用紙。南北に長いハイキングコースだったら縦罫の便せんを使って、記入してある罫を真北として利用すると簡単に書いてしまうから不思議だ。

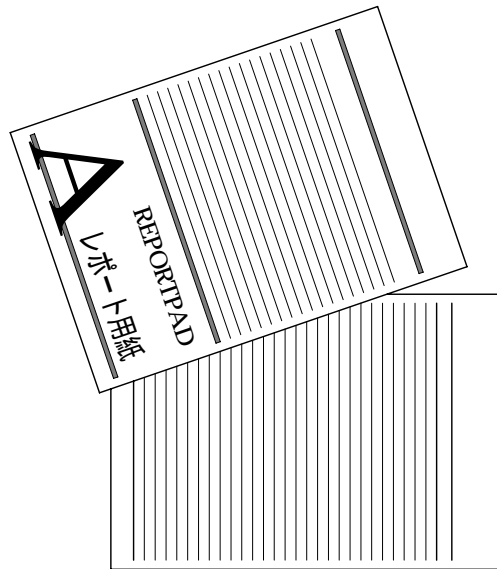
楽しみながら、思い出して、自分だけのオリジナル略地図を完成させよう。

このテキストは横浜第79団のスカウトが考えた方法を隊長の佐久間直人氏(79団)からお聞きして、横浜第61団BS隊長権代正士が作成した資料です。

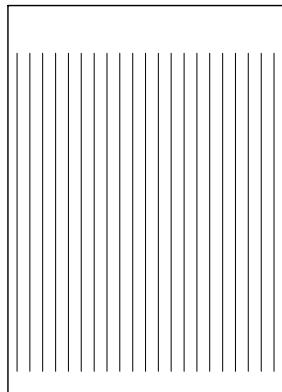
用意するもの



シルバコンパス



レポート用紙
東西に長いコースを通った時



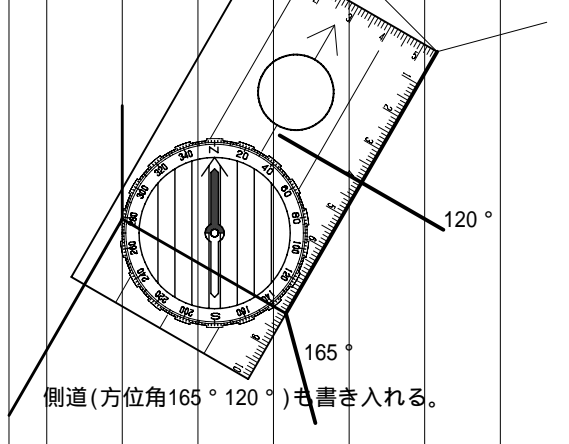
便せん
南北に長いコースを通った時

野帳

道路右側の事物	方位角 歩数	道路左側の事物	時刻	記事・観察事項
	ゴール 30	120(2,山道)	10:30	<ul style="list-style-type: none"> ゴール ○△山登山道入口の看板有り 樹林の手入れ悪い。 下草(クマ笹)が多い
△		△		
△		△		
300(2,山道)	30	120(2,山道)	10:15	<ul style="list-style-type: none"> 右:急な登りの林道(勾配○/10) 左:道が荒れていて通行不可能
△	30	△		
△		△		
300(3,林道)	30			<ul style="list-style-type: none"> 緩やかに登る林道(勾配○/10)
△	30	△		
△		△ 針葉樹林(杉林)		<ul style="list-style-type: none"> 神社周囲針葉樹林(杉林)
△		△		
遠くに田んぼ	345 35	75(2,参道) ㄇ	10:00 09:30	<ul style="list-style-type: none"> 右側○△神社参道の石だたみ 神社周囲の下草は手入れがされ、枝落としも行われ、地表まで光が落ちている。 ○△川:水は透明で流れも速い。 富士見橋:コンクリート製 昭和○年設置
河川敷に水鳥発見		川幅 3m 水深 30cm		
	345 25	60(4,アス)	09:15	<ul style="list-style-type: none"> 左側は川に向かって草土手、 食用植物(スイバ、ノビル等)多し
草土手				
255(4,アス)	60 45			<ul style="list-style-type: none"> 川沿いの幹線道路
△	315 20	75(3,アス)	09:15	<ul style="list-style-type: none"> 左右に針葉樹林、 ところどころに民家
針葉樹林(杉林)		民家数件		
△				
300(3,アス)	30 20	120(3,アス)		
	30 25	165(4,アス)		
○○児童公園				
0(3,アス)	120 40	ガソリンスタンド		
□◎商店街		□◎商店街		古い商店街の町並み。
300(4歩,アス)	30 スタート	120(4歩,アス)	09:00	方位角30°方向、舗装道路を進む。 スタート

【 3 】

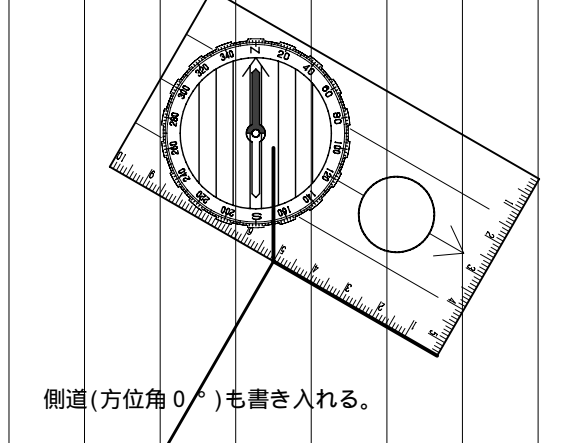
進んだ方位角(30°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
歩数分(40歩=80mm)の線を引く。



側道(方位角165°120°)も書き入れる。

【 2 】

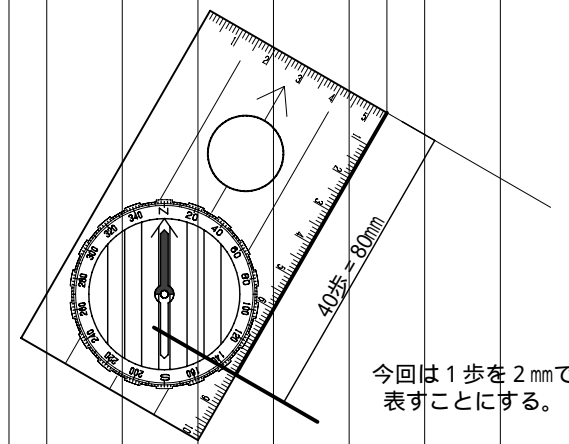
進んだ方位角(120°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
歩数分(25歩=50mm)の線を引く。



側道(方位角0°)も書き入れる。

【 1 】

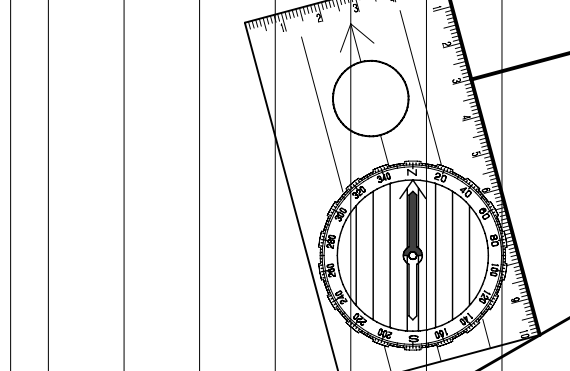
進んだ方位角(30°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
歩数分(40歩=80mm)の線を引く。



今回は1歩を2mmで表すことにする。

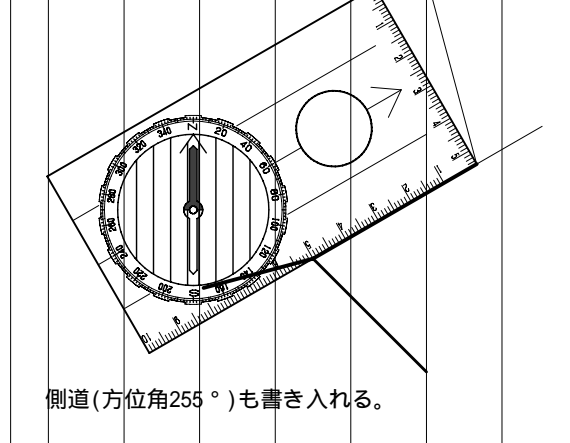
【 6 】

進んだ方位角(345°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
右側の道までの歩数分(35歩=70mm)の線を引き、
再び(30歩=60mm)の線を延ばす。
測道(右75°)を記入



【 5 】

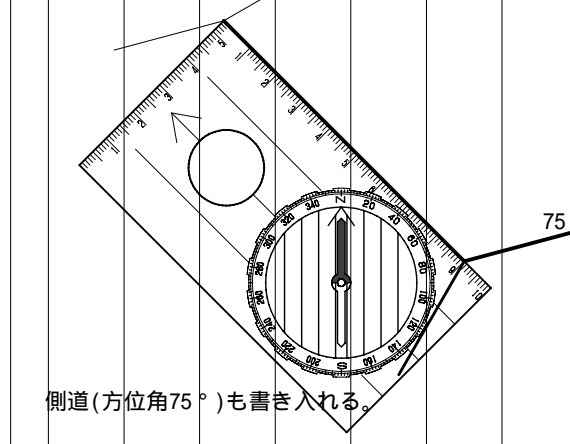
進んだ方位角(60°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
歩数分(25歩=50mm)の線を引く。



側道(方位角255°)も書き入れる。

【 4 】

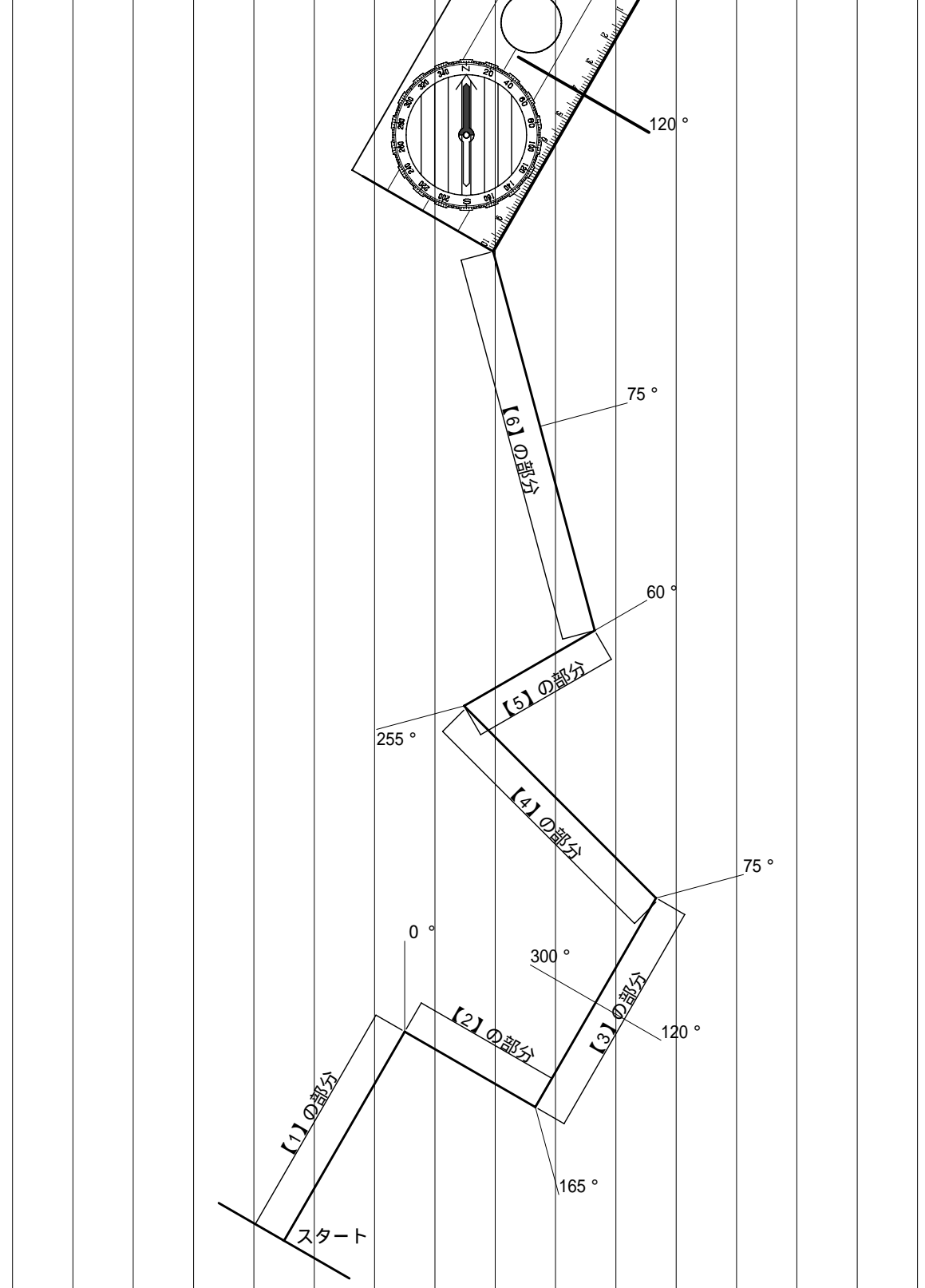
進んだ方位角(315°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
歩数分(45歩=90mm)の線を引く。



側道(方位角75°)も書き入れる。

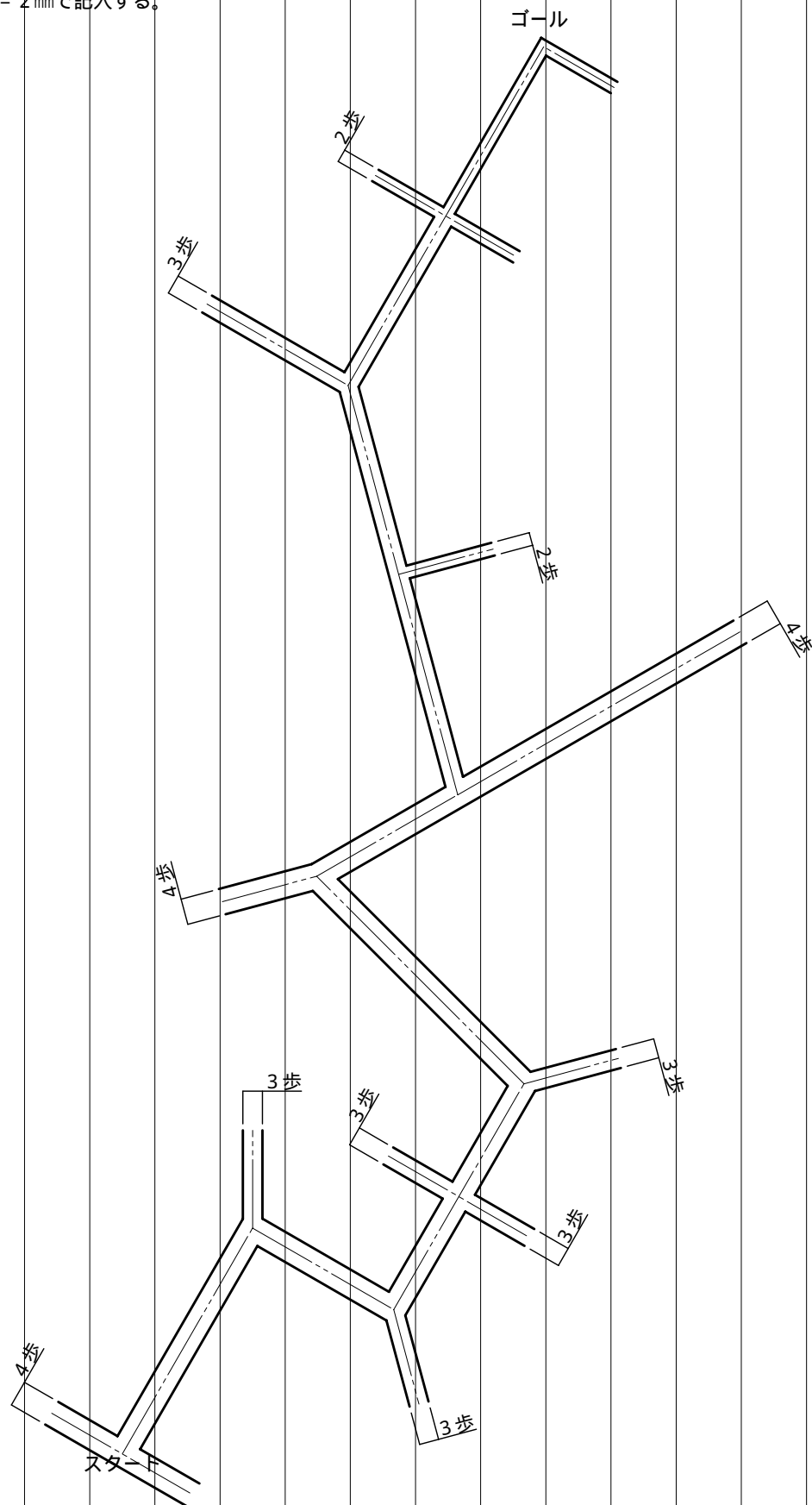
【 7 】

進んだ方位角(30°)を度数指示線に合わせる。
リング内の赤い線を用紙の罫線に合わせ、
交差点までの歩数分(30歩=60mm)の線を引き、
再び(30歩=60mm)の線を延ばす。



【 8 】

道路の幅を 1 歩 = 2mm で記入する。



【 9 】

川や建物、地図記号など、観察した項目を書き加えて終了。

最後に縮尺と方位を書き入れる。

